

わくやで広がる、
わたしの物語。

わくや

— 出会いがつながり、つながりが暮らしになる —



宮城県涌谷町
地域おこし協力隊募集・移住定住ガイド



お問い合わせ

企画財政課企画班

宮城県遠田郡涌谷町字新町裏153番地2
TEL:0229-43-2112 FAX:0229-43-2693
E-mail: gr-kikaku@town.wakuya.miyagi.jp



涌谷町公式
Facebook



涌谷町公式
Instagram
(color_of_wakuya)



涌谷町公式サイト



出会いがつながり、 つながりが暮らしになる

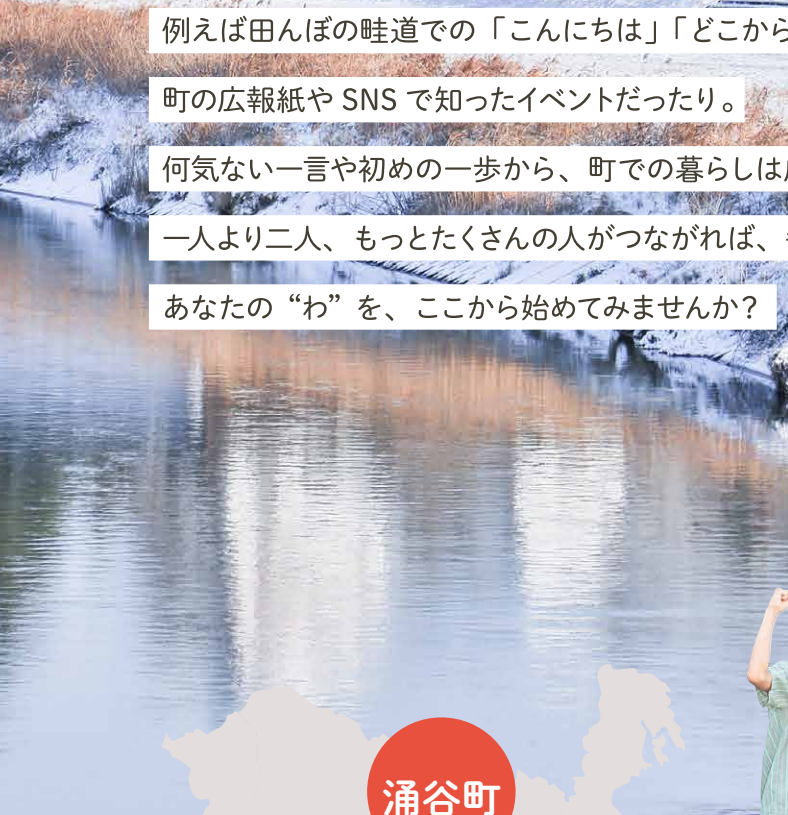
例えば田んぼの畦道での「こんにちは」「どこから来たのしゃ」の挨拶だったり、
町の広報紙や SNS で知ったイベントだったり。
何気ない一言や初めの一歩から、町での暮らしは広がっていきます。
一人より二人、もっとたくさんの人がつながれば、毎日がもっと輝くから
あなたの“わ”を、ここから始めてみませんか？



世界が広がる。

「わ」から、

ひとつの



涌谷町

宮城県

町の概要

面積：82.16km²
男性：6,921人
女性：7,153人
総人口：14,074人
世帯：5,983戸

※2025年7月31日現在

P.11



一般移住者
アプリデザイナー
植草海木子さん
アルプスアルパイン株式会社
植草雅也さん

P.9



一般移住者
キッチンカー運営
今野愛さん

P.7



東京からUターン
フラワーショップ「花叢」
佐々木春香さん
×
地域おこし協力隊OG
丹治奈緒子さん

P.5



地域の友だち家族
武山さんファミリー
×
地域おこし協力隊
宮澤さんファミリー

P.3



地域の若者
武田佳士さん
×
地域おこし協力隊
丸井陽介さん



丸井さん 以前の自分は「どうせ失敗するから」とやらないことが多かったのですが、一緒にイベントを考えてとりあえずやってみる、挑戦してみるチャレンジ精神が付いたと思います。

丸井さん お互いに気合でやるスタイルなので見通しが甘い部分もあるのですが、そこらへんが課題なんですけどね（笑）。毎月若手メンバーで集まって、「たくらむ会」と称してやりたいことを話し合っています。最近では若い世代でスポーツを通じた交流を実施したいと思い、公民館でモルック（※）をして20人くらい集まりました。最初は町内全部を巻き込んだ町民運動会を企ていたので、それも実現できたらいいですね。

武田さん 僕は公民館で文化祭のよう

ちゃんと出会いました。中学校までの町で過ごしてみて、若い世代が自分たちで何かをすることが少ないと感じていたため、まるちゃんと出会って僕も若い世代のためのイベントなどを企画運営するようになりました。

——丸井さんから影響を受けたことはありますか？



若い世代が主役になって

日常を豊かにする学びと遊びの場を。

地域おこし協力隊

丸井 陽介 さん

●プロフィール

兵庫県西宮市出身。2024年4月に着任。涌谷町の子どもたちの教育環境の向上をミッションとした活動を行っている。みやぎ地域おこし協力隊フェス実行委員長。

地域の若者

武田 佳士 さん

●プロフィール

涌谷町在住。中学校までは涌谷町、高校は石巻市に通い、現在は大和町にある会社に通勤しながら、休日の時間を駆使してイベントの企画運営に携わっている。



——移住を考えている方にメッセージを。

武田さん 涌谷は自然が豊かで四季がはっきりしていて、心も体も癒される景色がたくさんありますし、何かあった時にすぐ声をかけてくれる、頼れる人がたくさんいます。僕は高校や仕事でほかの町にも行きましたが、そこがこの町のいいところだと思います。

なことを開催したいと考えています。

丸井さん 産業祭はあるんですが若い人たちが来ないので、高校生がブースを出すとか。

武田さん 中学校の吹奏楽部が発表したりとか。

丸井さん 若い世代がどんどん参加して、町の人たちと繋がれるようなイベントをやっていききたいですね。



※フィンランド発祥のニュースポーツで、木の棒（モルック）を投げて木製のピン（スキットル）を倒し、その得点を競うゲーム。

——どんな活動をしているのですか？

丸井さん 主な活動としては、この「ゲストハウスあんだあも」での「YORIMICHI 放課後フリースペース」の運営、高校の総合的な探究の時間の授業のコーディネート、町の生涯学習課が小学校で行っている「放課後子ども教室」の活動支援のほか、地域の大学生や若者と一緒にイベントの企画運営を行っています。さらに今年は、涌谷町で初の「ふるさとワーキングホリデー」という関係人口創出のための事業を企画運営しました。ゲストハウスのフリースペースでの居場所づくりには特に力を入れています。涌谷駅の目の前にあるので、電車待ちの中高生が時間を潰したり勉強したり、近所の子どもたちがボードゲームで遊んだりしていきます。また5年間の塾講師経験を活かし、平日の夜には自宅でも個別指導の学習塾も営んでおり、わかるようになるまで指導しています。

武田さん まるちゃん（丸井さん）と一緒にイベントを企画運営したり、月一回ここで開催される子ども食堂を手伝っています。僕はその子ども食堂でまる



いきたいと思っています。

—— 涌谷町の暮らしや子育て環境はどうですか？

宮澤順子さん 医療費は18歳まで全額助成だし、教育的な支援や行政のサポートももちろんあります。また年配の方々がとても元気で子どもたちのことも見守ってくれているし、町を存続させようと頑張っている気概を感じます。この衣装も90歳間近のおばあちゃんが製作を手伝ってくれています。

武山友紀さん 年配の方でも杖をついて歩いている人は少ないし、しゃんとして歩いているから、年齢をお聞きして「ええ!」みたいな昭和的な感じで子どもたちが何か危ないことをしたら叱ってくれるし、お互いに困ったことがあれば助け合える、頼りにできる近所づきあいなので暮らしやすいです。

宮澤順子さん うちも通学の時なども、近所さんが家の中から「〇〇ちゃん通って行ったね」みたいに見てくれているので、目がいっぱいあるから悪いことはできません(笑)。私たちがここに来た時はママ友がいなくて、小児科や子育ての情報がわか

—— 移住を考えている方にメッセージを。

武山友紀さん 長く涌谷に住んでいます。が、あちこちの神社や、「ここにこんなところがあったんだ!」といった魅力を宮澤さんたちが見つけてくれました。外から来た人だからわかる私たちの日常にある魅力を、今度は私も一緒に、少しでも広める側になれたらいいなと思っています。

宮澤達さん 協力隊としての3年間、本当に人の輪に恵まれて活動ができました。途中でリタイアすることなく全うできるのは、皆さんのおかげだと感じているので、これからも観光や縁結びを通して町のために貢献したいと思っています。涌谷町の魅力は観光に食材、そして人の輪などいいところがたくさんあります。ぜひ夢の実現や家族との暮らしに、涌谷を選んでいただけたらと思います。



ママ友も人生の先輩たちも、

みんなが子どもたちを見守っています。

地域おこし協力隊

宮澤さんファミリー

対談者: 達さん(夫)、順子さん(妻)

●プロフィール

2023年1月に仙台から家族4人で移住し、夫婦で地域おこし協力隊として活躍。天平ろまん館での「わくや金色天平婚」や「わくや天平衣装体験」などを企画。

地域の友だち家族

武山さんファミリー

対談者: 友紀さん

●プロフィール

小学5年生の娘さん同士が同級生&ママ友の紹介で知り合い、宮澤さんたちが開催するイベントを共に盛り上げている。4人のお子さんがいるご家族。

—— それぞれの活動について教えてください。

宮澤達さん 涌谷町は日本初の産金地なので、その歴史を活かした魅力の発信をしたいと思い、天平ろまん館を舞台にした歴史衣装の体験企画や、宮城県内の6つの観光施設にて「ご家族の特別な日の思い出を動画で残す「ハレル日」を行っています。協力隊の任期が今年12月で終わるので、さらには結婚相談所も開設しました。町内に一軒家を購入したので、逃げられないんですよ(笑)。

武山友紀さん 宮澤さんが企画したイベントの時に声をかけていただき、着物をリメイクしたドレスのモデルを私の娘がしました。その衣装で涌谷の町歩きをしたり、先日「伊達かつばの里まつり」のミニファッションショーに出演しました。こんな素敵なドレスを着る機会は普段ありませんから、子どもたちも喜んでいるし、小学校の女子たちも「着てみたい!」って(笑)。知り合うまでこういった活動をされていることを知らなかったのですが、うちは子ども4人ですが、この町では少子化が進んでいますから、何かできることがあれば一緒にやって





「とりあえず、やってみよう」

一緒に動ける仲間がいれば、世界はもっと広がる。

フラワーショップ「花叢(はなむら)」

佐々木 春香 さん

●プロフィール

浦谷町出身。高校卒業後に上京し、フローリストを養成する専門学校卒業後に都内の生花店に就職。約6年の修行を経て2020年3月に浦谷町に帰郷。

地域おこし協力隊OG

丹治 奈緒子 さん

●プロフィール

東京都出身。東日本大震災が浦谷町と出会うきっかけとなり2016年12月に地域おこし協力隊として移住し、任期終了後に起業。一般社団法人AuBless(アウブレス)代表。

——それぞれの活動について
教えてください。

丹治さん 地域おこし協力隊第一号として着任し、「食」をテーマに活動しました。浦谷は農業の町でもあるので、生産者の皆さんと繋がり、生産物の掘り起こしや商品開発をしたり、浦谷で採れる黄色い野菜を「黄金食財」のブランドで付加価値を付けて、ホテルやレストラン、シエフ個人との流通に繋がりました。その活動が現在の事業になっています。2024年の4月からは天平ろまん館で、浦谷の食材と食文化が楽しめる「わくやキッチン」を営業しています。また、この古民家と敷地を活用して様々なイベントを開催しています。

佐々木さん 東京にいた頃は、東北が宮城県内で移動販売などをしながら花屋がやれたらと考えていて、最初は無店舗で実家から商品を発送していました。今はこの敷地の納屋をリノベして「花叢(はなむら)」を構えています。普通の花屋というより半分はアトリエのような感じで、そこで作業をしたりイベントに出店しています。草花系が好きなので、そういった花束やアレンジ、季節に合った

タリースなどを主に取り扱っています。
丹治さん 佐々木さんの作るものは、見ていて五感をくすぐられるような、アート作品に近いものが多いですね。

——一緒に活動するようになったきっかけは？

佐々木さん 役場の協力隊の担当窓口の方にご紹介いただき、丹治さんからここで開催しているマルシェへの出店を誘われて、それがきっかけですね。

丹治さん 2023年5月から活動拠点が一緒にになり、二人でイベントなどを開催するようになりました。一人の時はできないことも多かったのですが、もう一人プレーヤーがいてくれるので、できることが増えました。見ている先や向いているベクトルが同じで、考え方や思いもそれほど差がないので、やりたいことが伝わるし、テンションだけで分かってくれるというか(笑)。やっぱり一人より二人ってすごく大きいなと感じています。
佐々木さん 私はそれまではほとんど

——移住を考えている方に
メッセージを。

丹治さん ここに来た時から町の方々に「何もないところに何しに来たのしゃ」と言われましたが、自然や景観、食材や人など、この町にあるたくさんの宝

物を発信していきたいですね。そして私と同じように、この町の魅力を理解して、それを伝えたり繋いでくれる人を増やしたいなと思っています。

佐々木さん 仕事がない住めないではないということを、もっと知って欲しいと思います。クリエイティブ系の人なら自分で仕事を作るし、新しく農業を始めるなど、活用しきれない資源はたくさんあると思うので、移住はもちろん、もつと地元でUターンを考えてみませんか？



地域おこし協力隊
丹治 奈緒子 さん

Facebook (個人)

Facebook (一般社団法人AuBless)

フラワーショップ
「花叢(はなむら)」
佐々木 春香 さん

HP (花叢)

Facebook (花叢)



をしていてハンバーガーの美味しさに気づきました。いろいろな地域に行って、この味を楽しんでもらえる良さがあるのでキッチンカーにしました。最後に勤めていたことも園が食育と自然を大切にしており、屋号も「でこぼこ」としているように、規格外の野菜や卵を農家や養鶏場から安く仕入れて、食品ロスを減らすようにしています。パティはひき肉ではなくサイコロ肉を使ってじっくり焼き上げ、バンズには涌谷産の「夏黄金」

涌谷町には「産婦新生児未熟児訪問」があつて、生後4ヶ月まで保健師さんが自宅まで来てくれて、育児の相談やお母さんの悩みなど細かな部分も聞いてくれます。こんなに手厚い対応は、涌谷町が初めてでした。本当に子育てにいい町で、小学校も少人数で先生たちが一人ひとりに合った指導をしてくれますし、子ども会や地域の活動も盛んです。私は関

涌谷町の暮らしや子育て環境はいかがですか？

最初は自宅の敷地内で営業していたのですが、ご近所さんや子どもたちの幼稚園や小学校のお母さんたちがロコミで広めてくれたり、皆さんに気にかけていただきました。最近は気仙沼や南三陸方面に出店することも多く、宮城県内を回っています。また3日前のご予約でパンの販売もしています。

東で働いていた時期もあり、ひとり暮らしでとても困ったことがありましたが、ここではお互いがお互いを知っていて、子どもたちはもちろん、ひとり暮らしのお年寄りにも近所同士で声を掛け合っており、こういう温かい雰囲気が私は大好きです。

今後は町内に店舗を構えたいと考えています。パティの焼き時間が10分以上かかるので、イベントやお祭りで長蛇の列ができるのと私も焦ってしまうし、食べられなくて帰ってしまう方もいます。やっぱりテイクアウトではなく、焼き立てを美味しく食べて欲しいので、キッチンカーの良さと上手く両立させながら、営業できればと思っています。



お互いを知っている安心感と、声を掛け合う温かさが大好きです。

DEKOBOKO BURGER & BAKERY

今野 愛さん

●プロフィール

大崎市古川出身。約18年間保育士として勤め、2024年7月からバーガー&ベーカリーのキッチンカーを営業中。お子さんは小学6年、5年、3年、年中さんの4人。



涌谷に引っ越してきた理由を教えてください。

美里町出身の夫がハーレーダビッドソン専門のバイク屋で、物件を探していた時にここ追波北(おっぱきた)の建物と土地に一目ぼれしました。元々牛乳屋だった建物が広く、ガレージに適していたので即決でした。近隣にハーレーに乗られる方も多く、ツーリングスポットにもなっています。自然豊かなところなので子どもたちも伸び伸びと過ごせているし、ご近所の農家さんから新鮮で美味しい野菜をいただいで、私もおれにパンを作って渡したり、優しいご近所さんに恵まれてここに引っ越して正解でした。

いろいろな農家さんがいるおかげで、私がバンズに使っている小麦「夏黄金」の独特なこげ茶色の穂と、きれいな緑色の稲穂が並んでいて、初夏の夕暮れ頃は絶景が楽しめます。

キッチンカーでお店を始めたきっかけは？

元々パン作りが好きで、夫と食べ歩き



自分たちで開拓できる、
アクションを起こしやすい環境は魅力的です。

アルプスアルパイン株式会社

植草 雅也 さん

●プロフィール

千葉県出身。2020年にアルプスアルパインに入社し涌谷工場6年目。学生時代は陸上長距離走で活躍し、第48回涌谷クロスカントリー大会 高校・一般(男子)の部門で22位。

アプリデザイナー

植草 海木子 さん

●プロフィール

埼玉県出身。2024年10月入籍のタイミングで涌谷に引っ越し、転職することなくフルリモートで業務用アプリのデザイナーとして勤務。大学ではシステムデザイン専攻。

——仕事や暮らしなど、不安はありませんでしたか？

海木子さん ずっと遠距離で交際していたので、私がこちらに来るのもありかなと思います、入籍前に何度かこちらに来て、町を散策したり、生活に必要なものがあるか調べました。自転車で行ける範囲にスーパーがあるか、仕事で書類や荷物の発送も必要なので郵便局やコンビニも近いか。電車の本数は少ないですが、駅も近くて1時間くらいで仙台にも行けるので、不便はないです。

雅也さん 今日これから仙台にライブに行きます。僕は会社の敷地内にある寮で暮らしていて、隣にショッピングセンターがあったので、車がなくても暮らせました。結婚して町なかの2LDKのアパートに引っ越してからは自転車を購入しました。1Kも結構あり、うちの社員などひとり暮らしの人も多いですね。

海木子さん 実家よりも圧倒的に便利なんです(笑)。関東で一戸建を持ったリ、家賃を抑えるところと郊外になってしまっているので、新宿などに出るのに1時間かかると思うと、そんなに変わらないかなと。

雅也さん うちも実家よりこのほうが、コンビニもスーパーも駅も近いです(笑)。

——地域の方々との交流も広がっていますね。

海木子さん 涌谷町のInstagramを見て、地域おこし協力隊の丸井さんが企画した「たこやき会」に参加して、それがきっかけで町の人たちとの縁が繋がっていききました。夫は会社の人たちがいるけれど、私は馴染めなくて孤立するのではないかと心配だったのですが、今は野菜をいただいたり、知り合いが増えて楽しいです。

雅也さん 実は僕も、丸井さんと出会うまでは地域の人たちとの交流がありませんでした。5年も住んでいたのに(笑)。だから夫婦揃っての涌谷町デ



——移住を考えている方にメッセージを。

雅也さん 景色を見たり、いろいろなお店に寄ってみたり、機会があればここに住んでいる人と話してみれば、それで初



めてこの町の魅力や良さがわかるところだと思います。

海木子さん コロナ禍の時に関東でリモートになった時は、隣近所が近いので結構気を使う必要があったのですが、ここではアパートも一世帯に2台分くら

いの駐車場が無料で付いているので、周囲に空間があるから気兼ねせず自宅です仕事できます。体育館やテニスコートも気軽に借りられるし、鳥の声や満天の星など癒しもあるので、いい環境だと思います。

涌谷町の支援事業

出産に関して

○ 妊婦健康診査助成

健康課健康づくり班 TEL 0229-25-7973

涌谷町に在住する妊娠した女性を対象に、14回分の妊婦健診の費用の一部を助成します。県外での里帰り出産をする方にも適用されます。

○ 涌谷町不妊検査・不妊治療費助成事業

健康課健康づくり班 TEL 0229-25-7973

不妊検査にかかる費用の一部(上限3万円)を補助します。また、不妊治療にかかる費用の一部(上限5万円)を補助します。

子育てに関して

○ 子ども(乳幼児)医療費助成

子育て支援課子育て支援班 TEL 0229-25-7906

18歳までの子ども医療費が所得制限なく全額を助成します。

○ 涌谷町こども家庭センター「わくやっ子センター」

子育て支援課子育て支援班 TEL 0229-25-7906

妊娠期から子育て期(18才頃まで)にわたって、保健師・福祉士などが連携しながら子育てに関する悩みや困りごと全般に寄り添います。

○ 各種予防接種料金助成

健康課健康づくり班 TEL 0229-25-7973

おたふく風邪、風しんなどの予防接種料金の一部を助成します。

○ 第3子小学校入学祝金

子育て支援課子育て支援班 TEL 0229-25-7906

第3子以降、子どもが小学校に入学する際に3万円の入学祝金を支給します。

住まいに関する支援

○ 涌谷町移住促進住宅取得事業

企画財政課企画班 TEL 0229-43-2112

涌谷町内に転入してから5年未満で、町内に住宅を取得してから1年以内の世帯を対象として、住宅取得費の5%(上限20万円)、子育て世帯加算(上限20万円)、町内建築業加算(上限10万円)の最大50万円を補助します。

起業に関して

○ 中小企業振興資金融資制度

産業振興課商工観光班
TEL 0229-43-2119

融資上限額を2,000万円として融資します。信用保証料は町が全額補給し、利子補給もあります。

移住支援に関して

○ 涌谷町移住支援事業

企画財政課企画班
TEL 0229-43-2112

東京23区に在住または通勤する人を対象に、世帯移住の方に1世帯あたり100万円・単身移住の方に1世帯あたり60万円を支給します。

涌谷町の地域おこし協力隊になるには？

「観光振興」・「農業」・「映像制作などのクリエイティブ」・「涌谷町への移住定住推進」・「フリーミッション(隊員提案)型」と多岐にわたって募集しています。

基本的には20歳以上～50歳以下の方で、①涌谷町の地域住民と交流し、②自らが主体的に事業を企画し、涌谷町が抱える課題解決につながる活動を実行でき、③任期終了後も涌谷町に定住します。

業展開に意欲的で、④心身ともに健康な方を募集しています。任用形態も雇用関係がある「会計年度任用職員型」と雇用関係がない「委託型」の2パターンがあります。任期満了後に、円滑に起業・定住できるよう、副業も認めています。他の自治体ではなかなかない、自由な自己実現ができる活動が涌谷町ではできますので、まずはご相談ください。

※令和7年10月時点の事業内容です。

涌谷町とは？

宮城県北部に位置し、日本で初の金の産出地として歴史ある町です。自然豊かな田園風景が広がり、米や野菜の生産が盛んです。のどかで美しい自然と歴史が調和した、静かで住みやすい町です。



アクセス

【仙台市までのアクセス】

自動車：約1時間。

JR：JR涌谷駅からJR仙台駅まで約1時間。

【東京までのアクセス】

新幹線：涌谷町から最寄りのJR古川駅(車・JRで約30分)から約2時間。

【仙台空港までのアクセス】

自動車：約1時間。

JR：JR涌谷駅から仙台空港アクセス線仙台空港駅約2時間。



医療機関

涌谷町国民健康保険病院のほか、クリニックや歯科、眼科、整形外科など12軒の医療機関が、町民の健康をサポートしています。



教育機関

令和8年度から町立こども園1園、私立幼稚園・保育園・こども園3園で未就学児を育みます。待機児童はゼロです。町立小学校3校、町立中学校1校のほか、県立高校が1校あり、JRを利用して他市町の高校にも通学できます。



買い物環境

ヨークベニマルやイオンスーパーセンター、おでんとさんといったスーパーが3軒あるほか、新鮮な地元野菜を購入できる産直市場が「わくや天平の湯」に併設されています。便利なホームセンターやドラッグストアもあります。



降雪

東北・宮城県と聞くと降雪が心配されますが、雪かきが必要な降雪は、近年では、年に1～2回ほどで、降ってもすぐに溶けてなくなります。



アクティビティ

涌谷町内には、源泉を2つ持ち、入浴料が地域最安値の美肌の湯「わくや天平の湯」があるほか、どなたでも気軽に野菜作りに挑戦できる貸し農園や釣り公園、砂金採り体験などアクティビティも充実しています。



FAQ

移住相談でよくある質問



Q1 運転免許がないのですが、車なしで生活できますか？

A 涌谷町の中心部に住まいを構える際には、車なしでもJRや自転車を利用することで生活していただけます。なお、アクティブな生活を希望される際には、車が必要となります。

Q2 電車の本数はどのくらいですか？

A JR石巻線のJR涌谷駅では上下線ともに1時間に1本程度です。隣のJR東北本線上の小牛田駅では、仙台方面への通勤・通学時間帯は1時間に2本程度で、それ以外の時間帯は1本ずつ程度です。

Q3 冬の雪かきや夏の暑さ対策は必要ですか？

A 近年は温暖化の影響で、冬の雪かきは年に1回程度で済みますが、夏の暑さ対策としてエアコンは必需品となっています。

Q4 地域のお祭りやイベントはありますか？

A 春には4月上旬から中旬にかけて城山公園周辺で桜まつりが開催されるほか、毎年8月14日には江合川河川敷を会場に納涼花火が打ち上げられる夏まつりが開催されます。そのほかにも、四季折々、大小さまざまな催しが開催されています。

Q5 涌谷町の特産物はあるのでしょうか？

A 世界農業遺産に認定されている大崎耕土で育まれるお米のほか、関東以北で最大の生産量を誇る小ねぎに加え、(株)ウェルファームズのブランド鶏肉「森林どり」が特産です。その他にも、町の産直市場では、年間を通じて新鮮でおいしいさまざまな野菜・加工品を購入できます。